

地区校長会たより

〔宇都宮市校長会〕

1. 4月5日 第一回の校長会を一条中に於て開催
興動に伴ない新しい陣容を似って会長以下校長会
の事務担当を決定して宇都宮市校長会として発足
2. 旧年度中より準備にかかっていた関プロ校長会
準備委員会の事務を新陣容で継承し、事務引継を
受ける。
3. 4月17日 県校長会理事・協議員会に全員出
席県校長会長に廻谷陽北中学校長が就任し、事務局
長他事務局を宇都宮市の校長を以て構成承認さ
れる。関プロ校長会準備委員会を宇河中学校会
で引受け構成。
4. 関プロ校長会栃木大会の準備のため数次に亘り
会合。部下のない係長として計画し、実行の役を
昼夜の別なく実施。
5. 6月19～21日の関プロ大会に於ては、運営
と事務の両面に協力し、会の運営に支障のないよ
うに努む。
6. 8月早々により義務教育振興大会の準備に市校
長会の全員が参加。10月21日の同大会の運営
に協力。
7. 4月以降 多忙な業務の間研究会のリーダーと
して又自らの研修のために数次に亘り会を催して
研修に努めた。

〔河内地区校長会〕

1. 組織管理 昭和50年度 4月18日年度初の
校長会を開催し本会の役員・県中学校関係並びに
各種団体等の役割分担の決定、本年度の計画につ
いて協議した。本地区の組織の特色は中学校長会・
小学校長会、河北、河南小中学校長会の上に、さ
らに郡小中1本の組織をもち、独自あるいは1本
になり弾力的な活動を続けている。現在までに小
中合同会が8回、中学校独自が8回の研修、連絡
協議・情報交換を行ない、緊密な連絡のもとに活
動している。
2. 研修 本年度は関プロ校長会栃木大会開催の準
備の企画小委員会をもち、分科会協議題各係役割

の分担等について、その責任を果たすべく精力的
に活躍した。

3. その他 行政関係の要望活動として、昭和51
年度学校関係分担金、補助金等の増額について、町
村教育委員会に要望書の提出や、1月20日には
地元選出県議との懇談会を予定している。
会長 大谷晃一 副会長 上野逸郎

〔上都賀地区校長会〕

中学校教育に寄せられている課題は山積している。
個性を豊かに伸ばす教育もその一つであろう。しか
しながら、その根底には常に生徒指導の問題が横た
わっている。

上都賀地区校長会の昭和50年度研修の重点は正
にこの問題に真正面から取り組んだものといえる。
ある時には1泊2日にわたり学校経営の立場から生
徒指導の組織（PTAならびに地域における関係機
関との連携等を含めて）のあり方を探究したり、あ
る時は規模別にわかれて現実の問題を出し合っ
てその対処のあり方を追究して研修の成果を経営改善に
直接取り入れる対策も図ってきたのである。だが生
徒指導の問題は次々と新課題にぶつかるといえる。
今後ともそれぞれの学校において衆知をあつめて対
応策を練り創意と実行力をもって取り組む決意であ
る。幸い本地区では、中高連絡協議会が結成され管
内高校長と中学校長の緊密なる情報交換の場があり、
更には高校生徒指導連絡協議会などが各出身中学校区
ごとに結成されつつあるのでその活動促進によって
効果が期待できると思われる。

〔芳賀地区校長会〕

芳賀地区中学校は学校統合により現在16校で、
過疎化現象により真岡を除き小規模化している。

校長会は会長・副会長2名・庶務会計2名で組織
それぞれ県の各部員を選任 中体連・中教研は1人
1役で担当してその推進を図っている。

会議は毎月20日を小中合同校長会の定例会とし
教育事務所・芳賀広域行政教育委員会と一体になり
会議研修を行っている。中学校長会は隔月に開
催、必要に応じ臨時に行っている。（会場持廻り）

小中学校の連絡は部教育会の組織で、中高の連絡
は芳賀中高連絡協議会を中心に連絡研究協議を行い
学習指導、生徒指導の充実強化を図っている。

なお職業指導研究会をもって安定所の協力援助のもとに年一回、校長、進路指導主事の職場視察や研修と併せて研究を深めている。

本会の最大事業は毎年11月頃、県外優良校の視察で、地区の大きな学校行事の終了後、研修と親睦反省を兼ねて実施している。中学校教育の進進のため小中高の連けいは勿論、地域社会の関係諸機関団体との連絡協調にも努めている。

〔下都賀郡校長会〕

本年度は、会員の団結と意志の統一を図り、学校経営の効率化を図るため研修を活発に展開しよう、との運営方針のもとに次のような研修を進めた。

- 4月11日 下都賀教育事務所にて半田所長の指導のもとに事業計画予算をたてスタート
- 4月22日 役員会にて細案検討
- 5月27日 関プロ大会栃木提案テーマにつき研修
- 7月12日 学校管理上の諸問題につき藤岡一中の徳田校長提案、伏木管理課長の指導を受く。
- 9月4日 負担金、補助金について平岡校長提案同和教育について鈴木校長提案研修会
- 10月2日 中体連、部活動、スポーツ少年団活動と補償問題君島校長提案研修会
- 11月6日～8日 山口県萩市指月中学校、岡山市桑田中学校視察主として同和教育につき研修。
- 12月6日 学校予算について平岡校長提案研修会
- 1月10日、2月6日、3月12日それぞれ研修予定。

〔小山市校長会〕

毎月会合を持ち、本年度の研修主題は、五日制の問題をとりあげて研究を進めた。

研究の進め方として、本市として具体的にどのような方法をとったらよいかを考えた。

昨年も、この問題を取りあげたのであるが、先進校（東京教育大附属小）視察をした。焦点は、各教科の指導時数と父兄の協力態勢である。

本市でもまず、根まわしとして、各学校ごとにP

TA、青少年補導センター、市の社会教育課に働きかけて、生徒の校外指導又は生徒を中心にした社会体育の進め方をどのようにしたらよいか機会あるごとに話し合いをもつようしてきた。

学校内でも、資料と話し合いをもつようにするが、問題は、山積している。

本年度も終わりに近づいているが、これからも、この問題について考えていく予定であり、本年度も研究の予定である。

〔栃木市校長会〕

1.「学校週5日制」について、一関プロ大会の提案実施を前提としての話し合いだけに、「教育とは何か」の原案にたち、学校教育制度や教育課程更に家庭・社会教育の盲点をつき、将来の展望にたつた対策が打出され、大へん有意義だった。

2.小学校長会と共同して、研修部が中心となり、つぎのような研究主題を設定した。

「教育目標の具体化について」（特に評価の問題）

月日	場 所	研 修 内 容	講師その他
5/20	市民会館	オリエンテーション、並びに研修(教育目標の具現化のための学年、学級の研	北村作二氏 中嶋教育長 田村
7/11	栃五小	前回研修結果の分析・検分科会中心討小テーマに分けて研修	相互研修
8/21	大平少年自然の家	進路指導 学校5日制	部会中心 相互研修
10/24	伊勢崎市立第一中	同和教育	現場研修 (バス)
11/21	まとめ	研修まとめ 講 話	宇築瀬小 岩出徳寿先生

〔塩谷地区校長会〕

塩谷地区中学校長会の昭和50年度の研修について概説すれば、特に今年度は関東甲信越地区研究協議会栃木大会の開催にあたり、県下全中学校長が一丸となって、これが立派な成果をめざし努力したのであるが、本地区に於いても第3分科会の「学校教育活動の充実を期するための条件整備よいかあるべきか」の提案を受持ち、その調査研究及びまとめに校長会の研修の前半をあて並行して、また、大会後

の研修として学校経営のあり方について研究し、研鑽を深めたのである。

以下、本地区の研修計画を次にのべる。

- 4月 関プロについての提案研修
研修組織・テーマ・内容について
- 5月 関プロ大会についての研修
全日中大会の報告並びに内容検討
- 6月 第27回関東甲信越地区中学校長研究栃木大会に参加
- 10月 主体性を育てる学校経営・校長の行う指導について研修
- 11月 教科における生徒指導について研修
- 12月 他校参観及び高校入試対策についての研修
- 2月 自主・自発性を育てる特別活動についての研修

〔那須地区校長会〕

- 4月19日 定期総会・運営方針決定。
・那須野の風土に根ざした教育の創造
・本会の充実発展一研修・文策活動
- 5月12日 運営委員会一本年度の研修計画とその推進
- 6月16日 研修委員全体会議一研究主題・副題等
- 7月28日 教育講演会。各関係団体と共催。
講師 京大教授 高坂正亮先生
- 8月6日 天機奉伺。運営委員会。
- 8月9日 小・中別部会研修会
- 9月11日 校長全体研修会(那須高原ホテル)
～12日 講師 県教育長 渡辺幹雄先生
- 10月17日 校長会議一児童生徒指導の諸施策について
- 12月1日 校長会研修録発行「那須の風土を生きかし、創造性、人間性の伸長を図る教育」
- 12月1日 地元県議との教育懇談会(各団体と共催)
- 12月2日 市町村教委教育課長との教育懇談会
- 12月8日 市町村教委教育長との教育懇談会

- 1月12日 同教育長との要望懇談会
- 2月9～10日 校長県外研修(市町村代表7名)

〔安佐地区校長会〕

安佐地区校長会は佐野市小学校12、中学校6、安蘇郡小学校18、中学校4計40人で組織され、合同の研修と小中別分科会を持っている。小学校は3班に分かれ、中学校は安佐地区10名が1班を組織し、大体は午前中に全体会を持ち、午後3分科会で研修が行われ、指導主事や教育長が各班に分かれて研修に参加されている。

- 4/21 小中別研修主題説明一研修部による
- 5/27 小中別研修
- 6/16 野中退蔵先生の講話と小中別研修
- 7/10 夏休み中の指導上の問題点
- 9/18 小中別研修
- 10/23 優良校視察(水戸市立第二中)
- 11/21 小中別研修
- 12/9 冬休み指導上の問題点 小中別研修
- 1/20 研修結果の発表 学校訪問結果報告
中学校班としては50年度は「ひとりひとりを生かす進路指導と高校入試制度の改善をどう進めたらよいか」について研修してきた。

〔足利地区校長会〕

- 1 毎月1回定例中学校長会開催 会場市立第三中学校
 - (1) 年間計画作成
 - (2) 生徒指導対策委員作成
 - (3) 基礎問題懇談会(継続3回)
 - (4) 部活動運営協議会の設定とその活動
- 2.行事研究委員会
各学校の年間行事の効率化をはかるため共同研究
年間5回開催(小中学校合同委員9名)
- 3.学校建築対策委員会
当面の学校建築について対策を研究し、各学校の建築に反映させる。
年間4回開催(小中合同委員9名で組織)
- 4.次年度教育予算獲得のための交渉
 - ・対市教委交渉 市教育長、各課長立会い。
 - ・対市長交渉

5. 県外優良校視察

- ・期 日 10月28日・29日・30日
- ・視察校 1. 長野市立桜丘中学校
- 2. 新潟県十日町市立十日町中学校

〔南 那 須 校 長 会〕

地区内中学校わずか9校という集団であるので、諸事家庭的なふん囲気の中で進まれる。すぐ相談がまとまるので、全日中の大会などは同宿しながら全員出席する習慣になっている。ついでに教育大付属中学校を視察したが、その主たるねらいを学校5日制へ移行し易い中学校の教育課程をどのように工夫しているかを見ることに置いた。懇切に応待していただいたので、かなり参考になった。一般企業の不況に伴って学校5日制の方も幾分緊迫感から遠のいたような気もするが、教育課程改定の方向がもっとゆとりのあるものを目指しているようであるから、とにかくむだではなかった。全国大会が今年北海道、来年は九州というように魅力のある地方で開催されるのを機に、約半数の4人が遠征したが、独自のスケジュールで最小経費で最大効果を上げ得たように思う。恒例の校長会主催の新年宴会に、町村長、議長、県議、教育委員等の外に、去年から先輩校長を招待しているが、今年はず都府在住の先輩各位の多数の御参加もいただけて、かなり喜ばれたことは本望であった。

要 望 書

本会では、県当局に対し、既報のように次の5本の柱をたてて、要望書を提出し、その実現方についてお願いをした。(50年11月18日)

要 望 書

激動する諸情勢の中で、教育界もまた重大な局面を迎えています。しかしわれわれ中学校長会は、教育の重要性を深く認識し、教育の正常な推進に全力を尽くし、学校運営の充実強化に努めもって県民の期待にこたえ、信頼される教育の実現を期し、人間性豊かで創造性に富む県民の育成に精進せんとするものであります。

そのため下記事項の実現を要望いたします。

記

1. 生徒の教育条件の充実促進に関する事項
2. 教職員人材確保対策の推進
3. 教職員の勤務条件・待遇の改善
4. 福利厚生事業の拡大
5. 各種教育事業に対する県費補助の増額

全日中編集部だより

全日中の機関紙「中学校」は、われわれ会員に密着した会報である。次に本年度の各号のテーマを一覧にしたので諸賢のご活用をお願いしたい。

年月	特 集 テ ー マ	
50 4	新しい校長像	
5	学校教育の動向	
6	学校事務の合理化	河内教育事務所長河又
7	第26回総会	
8	私の研修旅行	大田原中長
9	体育的行事	
10	役員研修会・講演	執筆
11	自主自発の学校生活	
12	第26回函館大会	
51 1	学校評価	
2	過疎と過密	
3	学校経営から見た教科指導	

<編 集 後 記>

会報第3号は、主として、各地区校長会の活動状況を発表した。お互い他地区の活動を知り、新年慶をより一層地区校長会の活動を活発にしたいものです。なお、われわれの機関紙「中学校」の毎月号の特集テーマを一覧にした。テーマ毎に、この道の学者、実践家が執筆している。年度の総反省として、学校経営に資すべく、折を見てご一読いただければ幸甚。寒さなお厳しき折、諸賢のご自度ご健勝を祈り、筆をおく。

編 集 部 小 林 茂